

令和7年度

宮崎県の歯・口腔の健康づくりに関する施策の実施状況について



令和8年7月

1 ライフステージに応じた歯科保健対策の推進

乳幼児期・学齢期

<課題>

- 12歳児のむし歯のない者の割合を増やし、市町村間における歯の健康格差を縮小させる必要があります。

指標目標：12歳でむし歯のない者の割合が90%以上の市町村を増やす（乳歯及び永久歯）
（R11年度までに6市町村）

- むし歯予防に有効なフッ化物塗布やフッ化物洗口などのフッ化物応用の機会を増やす必要があります。

指標目標：フッ化物洗口に取り組む小学校の割合を増やす（R11年度までに90%）
フッ化物洗口に取り組む中学校の割合を増やす（R11年度までに70%）

- 乳幼児期及び学齢期における「噛む・飲み込む」などの適切な口腔機能の発達に関する事業を実施

指標目標：乳幼児期の口腔機能の獲得に関する事業を実施している市町村を増やす（R11年度までに全市町村）
学齢期の口腔機能の維持・向上に関する事業を行っている市町村を増やす（R11年度までに全市町村）

する市町村を増やす必要があります。

表1 3歳児で4本以上のむし歯のある歯を有する者の割合の推移（%）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
宮崎県	6.4	5.9	6.2	5.3	5.5	4.1	3.6
全国	4.0	3.6	3.5	3.0	2.5	2.2	2.1

（出典）地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

表2 3歳児で咬合異常のある者の割合の推移（%）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
宮崎県	9.7	9.5	8.9	13.6	13.6	15.5	18.1
全国	13.2	14.0	14.7	15.2	16.1	16.4	17.1

（出典）地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

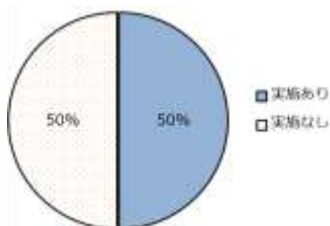


図1 乳幼児期の口腔機能の獲得に関する事業を実施している市町村の割合

（出典）令和5年度口腔機能の獲得に関する事業の実施状況調べ（宮崎県健康増進課）



図2 12歳児一人平均むし歯数の推移

(出典) 学校保健統計調査 (文部科学省)

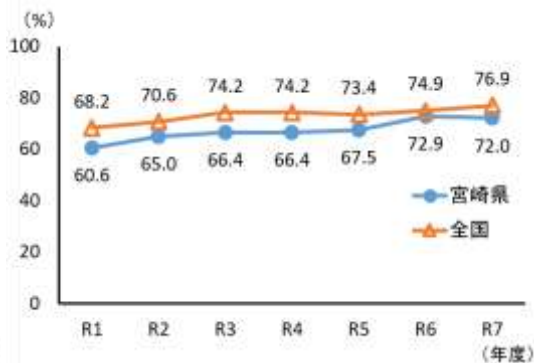


図3 12歳児むし歯のない者の割合の推移

(出典) 学校保健統計調査 (文部科学省)

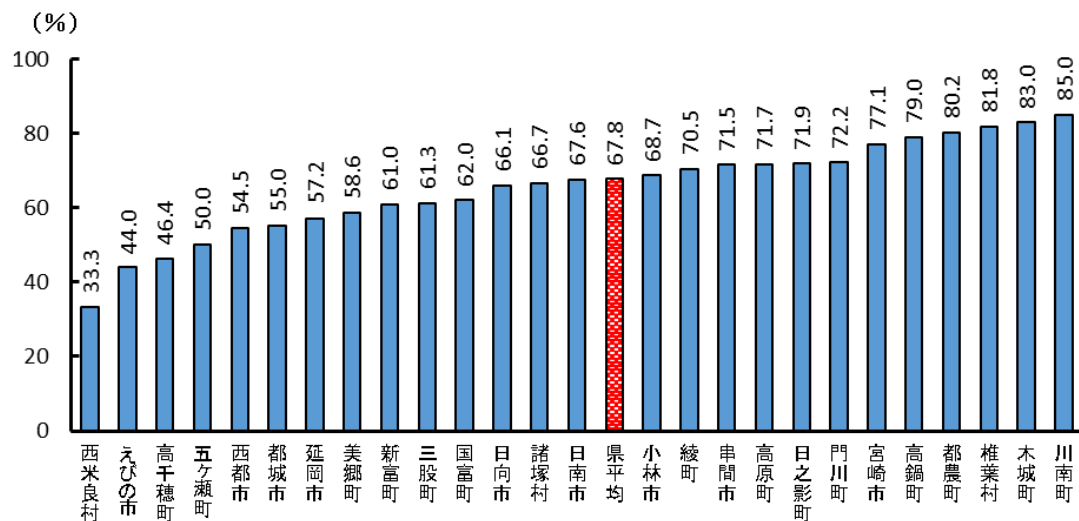


図4 令和6年度12歳児のむし歯のない者の割合 (乳歯及び永久歯)

(出典) 宮崎県の学校における歯科保健統計 (宮崎県健康増進課)



図5 年1回以上、歯科専門職*による歯科保健指導を実施している小学校の割合の推移 ※ 歯科医師、歯科衛生士

(出典) 平成16、23年度県民健康・栄養調査 (宮崎県健康増進課)

平成29、令和4年度学校における歯科保健指導についてのアンケート調査 (宮崎県健康増進課)

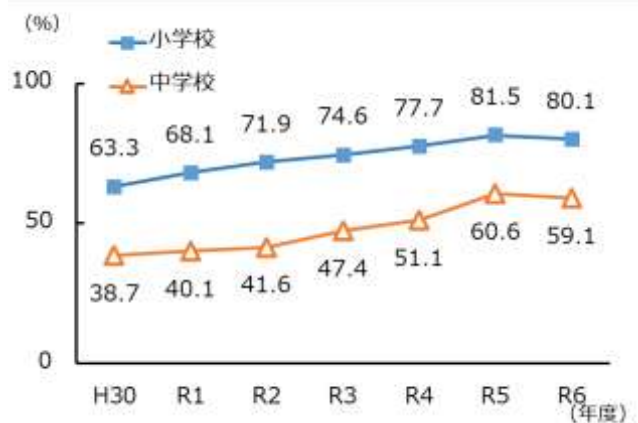


図6 小学校、中学校におけるフッ化物洗口実施状況の推移

(出典) 市町村歯科保健事業実施状況調べ (宮崎県健康増進課)

集団応用でのフッ化物洗口状況の実態調査 (宮崎県健康増進課)

※ 私立、国立の学校等、市町村が直接関与していない施設も含みます。分校は1校として計上しています。

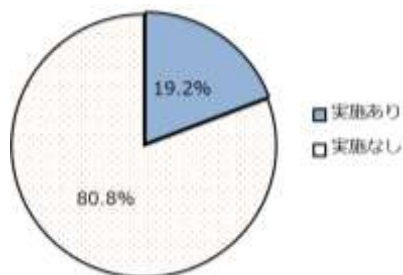


図7 学齢期の口腔機能の獲得に関する事業を実施する市町村の割合

(出典) 令和5年度口腔機能の獲得に関する事業の実施状況調べ (宮崎県健康増進課)

<R7年度に実施した主な事業>

(1) 歯科疾患予防対策事業

①フッ化物応用促進事業 (株式会社 MRT アド委託)

フッ化物の応用によるむし歯予防方法についての正しい情報を周知し、県民の歯と口の健康に対する興味を喚起するとともに県民の歯と口の健康づくりを推進しました。

■クリアファイルの作成、配布 11,000部 (県内小学校新1年生)



②若い世代の歯と口の健康づくりサポート事業（宮崎県歯科衛生士会委託）

若い世代（高校、大学、事業所等）等に対し、歯と口の健康づくりやフッ化物応用によるむし歯予防に関する情報提供及びむし歯予防、口腔ケア等について指導を行い、歯・口腔の健康増進を図りました。

■実施回数：延べ 11 回 1,012 名

（県立産業技術専門学校、藤元メディカルシステム看護大学校、宮崎保健福祉専門学校、県立高鍋農業高等学校、県立宮崎工業高等学校、県立都城泉ヶ丘高等学校、クラーク記念国際高等学校宮崎キャンパス、豊心福祉学園、県立農業大学校、県立富島高等学校）

■配布物：パンフレット、歯ブラシ・デンタルフロス・キシリトールガム



③フッ化物洗口技術支援事業

フッ化物洗口推進のため、市町村や学校等に対し専門的支援を行いました。

■宮崎県フッ化物洗口マニュアル（第2版）追加版を作成

■フッ化物洗口によるむし歯予防リーフレットの作成、配布 5,000 部



成人期（妊娠期を含む）・高齢期

<課題>

- 進行した歯周炎を持つ者の割合を減らす必要があります。

指標目標：進行した歯周炎を持つ者の割合を減らす（R11年度までに25-34歳を40%、35-44歳を50%、45-54歳を50%）

- 妊産婦の歯科健診を行っている市町村を増やす必要があります。

指標目標：妊産婦の歯科健診を行っている市町村を増やす（R11年度までに全市町村）

- 50歳以上における咀嚼良好者の割合を増やす必要があります。

指標目標：50歳以上における咀嚼良好者の割合を増やす（50～74歳）（R11年度までに85%）

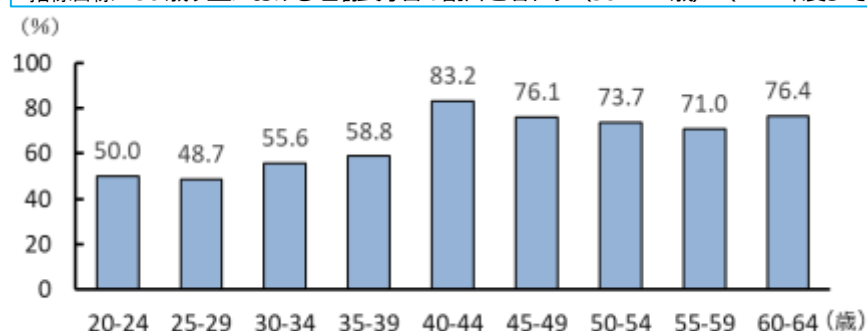


図8 進行した歯周炎を持つ者の割合の推移

(出典) 令和4年度宮崎県歯科医療関係患者調査（宮崎県健康増進課）※ 4mm以上の歯周ポケットがある

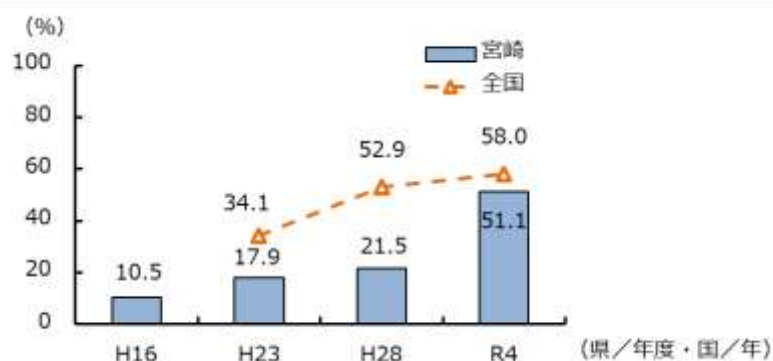


図9 定期的に歯科健診に行っている者の割合の推移

(出典) 宮崎：県民健康・栄養調査（宮崎県健康増進課）

全国：平成24、28年国民健康・栄養調査（厚生労働省）

令和4年歯科疾患実態調査（厚生労働省）※ 全国値、H23年の34.1%はH24年の値

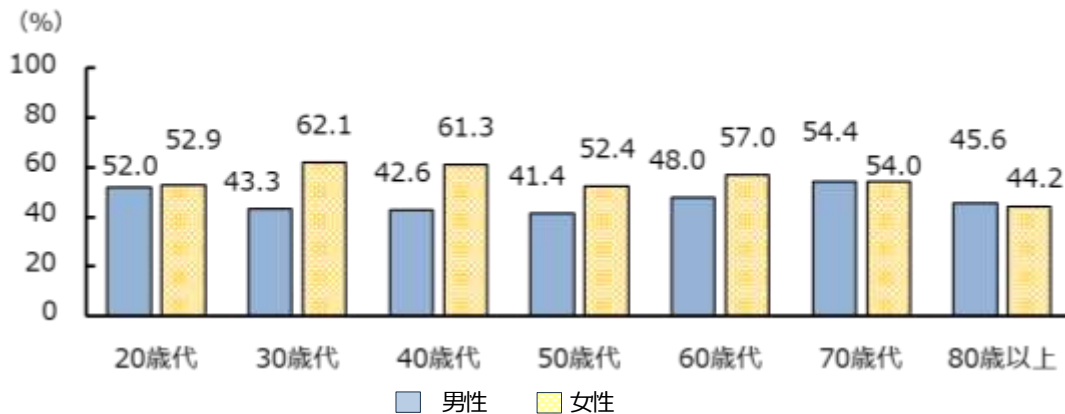


図10 定期的に歯科健診に行っている者の割合（年齢別）

（出典）令和4年度県民健康・栄養調査（宮崎県健康増進課）

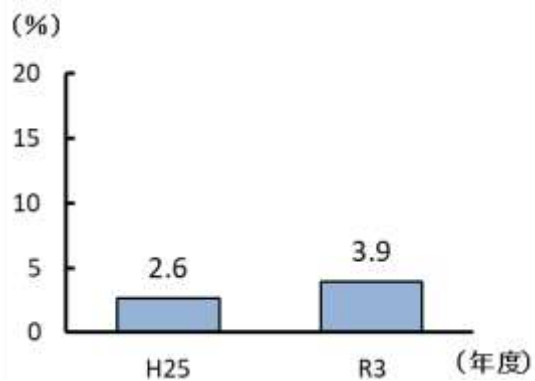


図11 歯科健診を実施している事業所の割合の推移

（出典）成人期の歯科保健に関するアンケート調査

（宮崎県健康増進課）



図12 50歳以上における咀嚼良好者の割合

（50～74歳）※

（出典）宮崎県：NDBデータ（50～74歳）

全国：国民健康・栄養調査（50歳以上）※年齢調整値

表3 市町村が実施する成人歯科健診（歯周疾患検診）受診率の推移（%）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
宮崎県	4.1	3.5	3.9	4.7	4.7	4.9
全国	5.0	5.0	5.0	5.3	5.4	5.3

（出典）歯科保健医療に関するオープンデータ（厚生労働省）

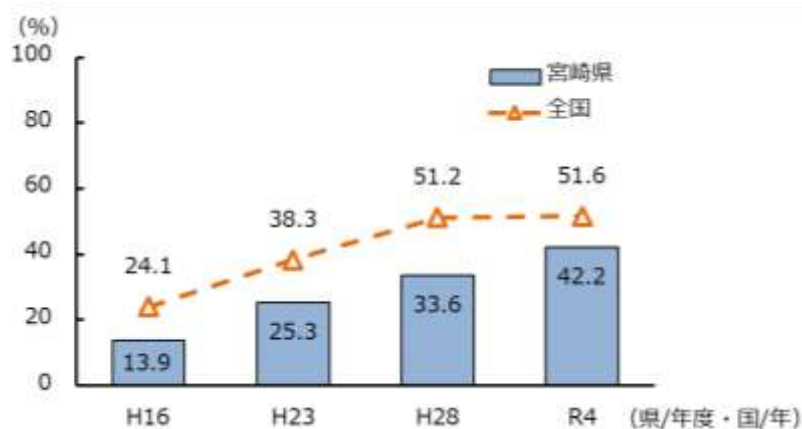


図13 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の推移

(出典) 宮崎県：県民健康・栄養調査（宮崎県健康増進課） 全 国：歯科疾患実態調査（厚生労働省）

※1 H16年の24.1%はH17年の数字

※2 H16、23、28年度は身体状況調査、R4年度はアンケートによる聞き取り調査

※3 75～84歳の平均

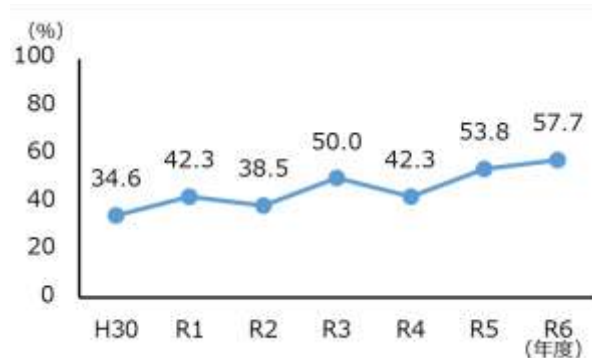


図14 介護予防・日常生活支援総合事業における“口腔ケア関係”事業実施市町村の推移

(出典) 市町村歯科保健事業実施状況調べ（宮崎県健康増進課）

＜R7年度に実施した主な事業＞

（1）事業所等への定期歯科健診推進事業（宮崎県健康づくり協会委託）

事業主や健康管理担当者への歯科保健意識の啓発、従業員等への歯科健診、歯科保健指導を行うことで、定期歯科健診実施事業所の増加を図りました。

■事業所健康管理担当者向け研修会（令和7年度労働安全衛生推進大会）

主 催：公益財団法人宮崎労働基準協会延岡支部

開催日：令和7年6月6日

内 容：「事業所での定期歯科健診の実施向上と歯科受診の重要性について」

講 師：北浦歯科医院 院長 林 正太郎先生

参加者：45名

■歯科健診の実施

内 容：むし歯、歯周病の状態、その他の疾患のチェック、ブラッシング指導

実施先：宮崎商工会議所（宮崎市）、株式会社デンサン（宮崎市）、株式会社オロ宮崎（宮崎市）

参加者：71 名（うち 5 名講話のみ）

■協会けんぽメールマガジンへの掲載

■定期歯科健診受診勧奨チラシ配布

（2）妊産婦における歯科保健対策事業

■市町村妊婦歯科健康診査補助金

妊婦歯科健診を行う 6 市町への補助を行いました。

（宮崎市、都城市、高原町、国富町、綾町、日之影町）

（3）産科医療機関等従事者への歯科保健指導研修（宮崎県歯科医師会委託）

産婦及び生まれてくる子どもの歯の健康づくりに寄与するため、産科医療機関の関係者等に対する研修、啓発資料の作成・周知等を行いました。

■産科医療機関関係者及び妊婦への歯科保健指導 4 施設

■妊婦歯科健診啓発リーフレット

「妊婦さんのための口腔ケア」作成、配布 1,000 部

「赤ちゃんのためのむし歯予防ガイド」作成、配布 2,000 部



（4）高齢者のフレイル予防

通いの場等へ歯科専門職を派遣し、オーラルフレイル予防について普及啓発を行いました。

■啓発 CM の作成

■通いの場への歯科専門職派遣 8 回 305 名

- 「栄養と口腔からはじめるフレイル予防」パンフレット 18,000 部



2 支援が必要な方への歯科保健の推進

障がい児者・要介護者

<課題>

- 地域で障がい児者を診療する協力歯科医師を増やす必要があります。

指標目標：障がい児者協力歯科医師の人数を増やす（R11 年度までに 100 人）

- 定期的に歯科健診を実施している障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす必要があります。

指標目標：定期的な歯科健診を実施している障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす（R11 年度までに 90%）
定期的な歯科健診を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす（R11 年度までに 90%）

- 施設職員が口腔ケア等の研修を受けている障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす必要があります。

指標目標：定期的に歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアに関する研修会を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす（R11 年度までに 90%）

- 在宅歯科診療を実施する歯科医療機関を増やす必要があります。

指標目標：在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合を増やす（R11 年度までに 40%）

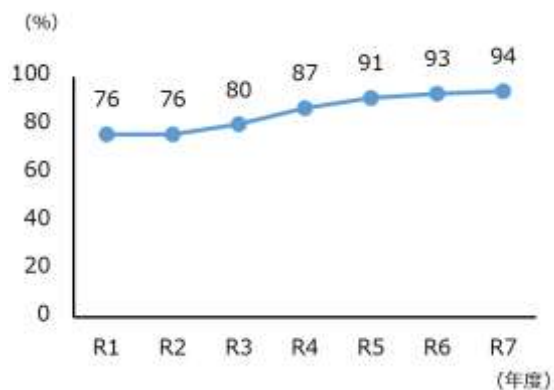


図15 県内の障がい児者協力歯科医師[※]数の推移

(出典) 障がい児者歯科保健医療推進事業（宮崎県健康増進課、宮崎県歯科医師会）

※宮崎歯科福祉センターが実施した障がい児者の歯科治療に関する研修を修了した
歯科医師数（障がい児者を受け入れている歯科医療機関は上記以外にもあります）。

表4 宮崎歯科福祉センターの延べ患者数、全身麻酔法等の実績

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
延べ患者数	11,451 人	11,229 人	12,089 人	12,802 人	14,293 人	14,515 人	14,979 人
全身麻酔法	47 件	55 件	61 件	68 件	81 件	101 件	88 件
静脈内鎮静法	243 件	204 件	214 件	218 件	218 件	209 件	167 件

(出典) 宮崎市郡歯科医師会 宮崎歯科福祉センター

表5 在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合の推移 (%)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
宮崎県	26.6	27.2	27.7	29.2	27.1	27.3	29.3	30.6	30.9

(出典) 宮崎県歯科医師会調査

<R7年度に実施した主な事業>

(1) 障がい児者歯科保健医療推進事業

障がい児者等が安心して歯科保健医療サービスを受けることができるよう、宮崎歯科福祉センターと連携して地域で障がい児者歯科診療を担う協力歯科医師等を養成し、歯科保健医療体制の整備を図りました。

① 協力歯科医師、歯科衛生士養成事業（宮崎県歯科医師会委託）

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和8年 1月17日	講演 「医療的ケア児の理解と対応の基本」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長・院長 石倉 行男先生 講演 「みんなで支える障がい者歯科医療～やさしい未来が広がる地域づくりを目指して～」 講師 宮崎歯科福祉センター 歯科診療部長 日高 幸一先生	28名
令和8年 1月18日	講演 「医療的ケア児への歯科訪問診療の実際と今後の展望」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長・院長 石倉 行男先生	16名

■実習

実施日：令和7年10月～令和7年12月

実施場所：宮崎歯科福祉センター、都城医療センター

参加者：歯科医師6名

② 歯科医療体制整備事業（宮崎市郡歯科医師会委託）

地域拠点歯科診療所（宮崎歯科福祉センター）と地域の歯科診療を担う歯科医療機関等との連携を図るとともに、歯科保健医療サービスの提供及び障がい児者歯科医療に携わる歯科医師等の資質向上を図りました。

■障がい児者施設等歯科健診：施設数：4施設、202名

（知的障害者総合福祉施設 向陽の里 さくら寮、もみのき寮、かしのき寮、すぎのき寮）

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和7年 10月7日 (オンデマンド配信)	演 題：「地域とセンターをつなぐ歯科衛生士～チームを動かす情報共有と調整力～」 講 師：四日市市歯科医療センター 副センター長 松岡 陽子先生	53 アドレス
令和8年 1月6日 (オンデマンド配信)	演 題：「嚥下に向けての舌の動きとその仕組み～舌リハとの関わり」 講 師：徳島大学名誉教授 北村 清一郎先生	57 アドレス

■宮崎歯科福祉センター職員研修会

開催日	内容
令和7年 4月2日	演 題：「最新のインプラント治療について」(part1) 講 師：前田歯科クリニック高千穂通 院長 前田 祥先生
令和7年 4月4日	演 題：「これからの障害者歯科について」 講 師：野村歯科医院 院長 野村 賢介先生 矯正・小児ひまわり歯科 院長 柿崎 陽介先生
令和7年 5月22日	演 題：「大規模災害時の対応について」 講 師：ごとう歯科医院 院長 後藤 大先生
令和7年 8月28日	演 題：「小児歯科について」 講 師：kids dental clinic 院長 押領司 謙先生
令和7年 11月5日	演 題：「摂食嚥下について」 講 師：鹿児島大学病院 小児歯科 助教 山本 祐土先生
令和8年 3月4日	演 題：「最新のインプラント治療について」(part2) 講 師：前田歯科クリニック高千穂通 院長 前田 祥先生

③障がい児者歯科疾患予防事業（宮崎県歯科衛生士会委託）

障がい児者に対して、その状況に応じた支援を行い、歯科疾患の予防等による口腔の健康の保持・増進を図るとともに障がい児者に対する歯科診療、歯科保健指導に対応できる歯科衛生士の育成、確保を図りました。

■学校関係者並びに児童生徒に対する歯科保健指導：15回、参加者 396名

（みやざき中央支援学校（中学部2年生・保護者・職員）、日南くろしお支援学校（中学部1年生・保護者・職員）、合同会社エール ステラ（小・中・高等部・職員）、放課後等デイサービス カラーズ2（未就学児・職員）、放課後等デイサービス あのね（小・中・高等部・職員）、放課後等デイサービス カラーズ2（小・中・成人・職員）、放課後クラブ いんくる（小・中・高学部・職員）日南くろしお支援学校（高等部・職員）、宮崎中央支援学校（小学部2年生・保護者・職員）、障がい者施設 ありの実園（成人・職員）、山田りんどう福祉（成人・職員）、知的障がい者総合施設 向陽の里（職員）、多機能型事業所 にじいろ（未就学児・小学部・保護者・職員）、さつき園（成人部・職員）、小林こすもす支援学校（小学部1～6年・職員））

■障がい児者対応歯科衛生士の育成確保研修会

開催日	内容	受講者数
令和7年8月31日	演題 「食べない偏食の子どもたちに寄り添う～こどもたちの美味しいをみつけよう～」 講師 西国領歯科医院 副院長 西国領 俊子先生	33名
令和8年3月8日	演題 「摂食嚥下障害への臨牀的対応と言語訓練」 講師 藤元総合病院 言語聴覚士 主任 岩村 そのえ先生	22名

■リーフレット配布

「さまざまな特性を持つ方へ お口の健康 すこやかな口腔環境をめざして」の配布

配布部数：1,200部（各保健所150部）

■視覚支援媒体「歯みがきカレンダー」配布

配布部数：2,400部

(2) 介護施設等における口腔ケア等指導研修事業（宮崎県歯科医師会委託）

入所者等へ口腔ケアを行うとともに、施設等職員への口腔ケア指導を実施しました。

■実施回数：31施設、参加人数715名

(3) 在宅歯科医療推進事業

高齢・寝たきり者・障がい児者等に対する在宅歯科医療の普及向上に資するため、在宅歯科診療に取り組む歯科医療機関に対して、在宅歯科医療機器等の設備整備や人材育成の研修会を実施しました。

① 在宅歯科医療推進設備整備事業

■在宅歯科診療に必要な医療機器等の購入補助：7施設

（訪問診療車、ポータブルユニット、歯科用ポータブルX線装置 等）

②在宅歯科ネットワークの構築（宮崎県歯科医師会委託）

在宅要介護者の歯科医療と口腔ケアを推進するため、在宅歯科調整窓口を設置し、在宅歯科医療に関する相談業務や歯科訪問診療の調整、自宅や施設への訪問による歯科保健状況の把握などを行いました。

■調整窓口の設置：県内4か所（県央、県南、県西、県北）

■相談件数 67 件（うち歯科医療機関紹介件数：57 件）

		医療機関		施設等	その他 (市町村、保健所等)
		病院	施設		
県 央	相談※1	0 件 (0 件)	1 件 (1 件)	2 件 (2 件)	8 件 (7 件)
	訪問によるアセスメント	0 件	0 件	0 件	0 件
県 西 (都 城)	相談	1 件 (1 件)	0 件 (0 件)	8 件 (7 件)	9 件 (4 件)
	訪問によるアセスメント	0 件	0 件	0 件	0 件
県 南 (日 南)	相談	0 件 (0 件)	5 件 (5 件)	23 件 (21 件)	3 件 (2 件)
	訪問によるアセスメント	0 件	5 件	22 件	2 件
県 北 (延 岡)	相談	0 件 (0 件)	0 件 (0 件)	2 件 (2 件)	5 件 (5 件)
	訪問によるアセスメント	0 件	0 件	0 件	0 件

※（ ）は歯科医療機関につないだ件数

③在宅支援における歯科衛生士の復職支援事業

免許取得者のうち現在離職している者等を対象に、離職している背景や復職に際して望むこと等に関する相談会の開催や歯科衛生士の復職及び人材確保に係る研修会等を開催しました。

■復職支援相談会の開催（宮崎県歯科医師会委託）：2 回

■歯科衛生士交流会の開催（宮崎県歯科医師会委託）：2 回

■歯科医療機関管理者向け研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	参加者・ 試聴回数
令和7年12月～ 令和8年3月 (オンデマンド配信)	演題 「離職防止研修会～企業は人なり、組織は職務なり～」 講師 霧島人事総研 代表 特定社会保険労務士 本嶋 有二郎 先生	31 回
令和8年 1月31日	演題 「採れない時代、育たない時代にどう立ち向かうか？ ～詐欺、即退職、総入れ替え、経験から学んだこと～」 講師 医療法人 なりとみ歯科 理事長 成富 健剛先生	35 名

■スキルアップ研修会（宮崎県歯科衛生士委託）

開催日	内容	受講者数
令和7年 9月28日	演題 「院内ラボからみる現在の歯冠補綴物」 講師 うえくぼ歯科医院 歯科技工士 黒木 福文先生	26名
令和7年 12月14日	演題 「インプラント治療を支える！メンテナンスの理論と実践」 講師 医療法人 至誠会 松井歯科医院 院長 松井 健太郎先生	23名
令和8年 2月8日	演題 「新・ペリオドントロジー なぜ歯周病になるの？」 講師 井上 和先生（フリーランス 歯科衛生士）	36名

④在宅歯科医療人材育成等事業

■歯科衛生士向け研修会（宮崎県歯科衛生士会委託）

開催日	内容	受講者数
令和7年 12月13日	演題 「セラピストから学ぶフレイルと介護予防」 講師 訪問看護リハビリステーションオールグリーン理学療法士 西山 和宏先生 宮崎県歯科衛生士会 佐々木 美鈴先生	26名
令和8年 1月25日	演題 「歯科衛生士さんにぜひ覚えておいてほしいこと ～粘膜疾患と接触・嚥下障害の基本と対応～」 講師 ガーデン歯科クリニック 口腔外科センター センター長 黒川 英雄先生	25名

■宮崎県栄養士会との合同研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	受講者数
令和7年 8月9日	演題 「栄養と健口」 講師 大阪大学名誉教授・特任教授 天野 敦雄先生 演題 「高齢者食事調査からの栄養支援について」 講師 宮崎県栄養士会 会長 酒元 誠治先生	44名
令和7年 9月16日	オンデマンド配信	18回 (視聴回数)

■在宅歯科医療推進研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	受講者数
令和7年 9月20日	演題 「理念に基づく21世紀歯科医療の展開 ～認知症を例に要介護高齢者の在宅食支援と健康観～」 講師 医療法人社団光生会 陵南診療所 摂食・嚥下リハビリテーション・嚥下部長 日本大学歯学部 摂食機能療法学講座・特任教授 植田 耕一郎先生	49名
令和7年 10月28日	オンデマンド配信	13回 (視聴回数)

⑤県民に対する周知啓発

- 在宅歯科啓発カレンダーの作成、配布 1,500 個
- 啓発 CM の作成



在宅訪問歯科診療 テロップ CM 案 15 秒

【ナレーション：女性】



「おうち」で「施設」で
歯の治療が
受けられます!



寝たきりなどの理由で
通院が困難でも
歯科医師や、
歯科衛生士が
ご自宅に伺います。



まずは、
かかりつけの歯科医院へ
ご相談ください。

3 医科歯科連携を推進するために必要な体制の整備

<課題>

- がん患者等の口腔ケアなどの医科歯科連携の必要性について、県民や医療関係者等への更なる普及啓発を図る必要があります。
- 医師、看護師、医療連携室スタッフ等に対して、がんや脳卒中、心血管疾患等の治療における医科歯科連携の必要性の理解を深めるため、研修会や検討会を実施する必要があります。
- 「宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針（第2期）」を参考に、糖尿病治療時における医療機関と歯科医療機関との連携を推進する必要があります。
- 医科歯科連携ができていない病院数を増やす必要があります。

指標目標：医科歯科連携ができていない病院の割合を増やす（R11 年度までに 80%）

表 6 県内の医科歯科連携の実施状況（%）

年度	R3	R7
宮崎県	64.7	46.6

（出典）周術期を含む入院患者への口腔ケアに関するアンケート調査（宮崎県健康増進課）

※ できている：「できている」又は「ある程度できている」と回答したもの

<R7 年度に実施した主な事業>

（1）地域医療支援病院等における医科歯科連携事業（宮崎県歯科医師会委託）

医科歯科連携を推進するため、調整窓口を設置し、地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院等の患者に対して誤嚥性肺炎などの全身感染症や口腔内合併症を予防・軽減するための口腔管理を行い、患者のQOL（生活の質）向上を図りました。

- 調整窓口の設置：県内 4 地区（宮崎、日南、都城、延岡）

相談件数：368 件（うち歯科医療機関紹介件数 361 件）、口腔ケア：368 件（件）

		医療機関			その他
		地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	その他	
県 央	相談 ※1	188 件 (188 件)	0 件 (0 件)	153 件 (153 件)	0 件 (0 件)
	口腔ケア ※2	188 件	0 件	153 件	0 件

県西 (都城)	相談	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)
	口腔ケア	0件	0件	0件	0件
県南 (日南)	相談	0件 (0件)	0件 (0件)	26件 (19件)	1件 (1件)
	口腔ケア	0件	0件	26件	1件
県北 (延岡)	相談	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)
	口腔ケア	0件	0件	0件	0件

※1 ()は歯科医療機関につないだ件数

※2 つないだ歯科医療機関からの派遣、調整窓口からの派遣のいずれも含む

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和7年 12月6日	演題 「周術期口腔機能管理に関する最新の知見 ～術後合併症や顎骨壊死をどのようにしたら予防できるのか?～」 講師 愛知学院大学歯学部口腔先天異常学研究室・客員教授 長崎大学・名誉教授 梅田 正博先生	25名
令和8年 1月24日	演題 「がん口腔支持医療 最近のトピックス、エビデンス」 講師 国立がん研究センター 中央病院 歯科医長 上野 尚雄先生	20名

■連携会議、ケース検討会等：35回

■啓発CMの作成

入院患者さんのための口腔ケア テロップCM案 15秒

【ナレーション：女性】

11

いつかあなたも入院するかも?
**入院・手術前は
口腔ケアが重要です!**

入院・手術前は
口腔ケアが大切です。

12

入院前に歯の中をキレイにすると...
感染菌などの合併症を
予防する
入院日数を
減らすことが
できます!

入院前の口腔ケアは
感染症など合併症の予防や
病気の早期回復にも
つながります。

13

入院・手術が決まったら
歯科医師を
受診しましょう!

入院や手術が決まったら
歯科医師を
受診しましょう

0985-29-0055

4 災害時の歯科保健医療体制の整備

<課題>

- 特に要介護者、障がい児者等の要配慮者においては、誤嚥性肺炎や口腔機能低下のリスクが高いことから、口腔ケアなどのオーラルフレイル予防を行う必要があります。
- 平時から、災害時におけるオーラルフレイル予防や歯・口腔の健康保持の重要性について普及啓発を行う必要があります。

<R7年度に実施した主な事業>

(1) 災害時の口腔ケア推進事業（宮崎県歯科医師会委託）

災害発生時に速やかに歯科保健医療活動を行うことができる支援体制を整備するため、関係団体と連携を図るとともに関係者に対する研修会を開催しました。

開催日	内容	受講者数
令和7年 9月7日	研修会名 令和7年度 JDAT 標準研修会 演題 「災害時における保健医療福祉体制について」 講師 宮崎県福祉保健部福祉保健課企画調整担当 主幹 稲森 健介氏 演題 「県内における災害時の歯科対応について」 講師 警察歯科及び災害時対策会議 副委員長 後藤 大先生	36名
令和7年 11月9日	研修会名 D-E A T s 宮崎 試行コース2025 ～多職種での“災害時「食べる」連携研修会”～ 講師 東北大学 大学院歯科研究科 特任講師 中久木 康一先生（歯科医師） 講師 東京工科大学 医療保健学部 教授 原田 浩美先生（言語聴覚士） 講師 愛野ありあけ病院 栄養課 主任 山口 祐介先生（管理栄養士）	34名

■啓発CMの作成



5 歯科口腔保健を担う人材の確保・育成

<課題>

- 近年の高齢化に伴う訪問歯科診療における口腔健康管理のニーズの増加や介護施設等との連携による口腔ケアの推進、病院等との連携による周術期口腔健康管理の推進、フレイル予防など、歯科保健医療の新たなニーズが高まる中、それに対応できる資質の高い歯科衛生士の養成及び確保が必要です。
- 歯科衛生士の不足は全国的な課題となっており、本県においては、人口 10 万人あたりの歯科衛生士数は全国値を上回っているものの、歯科診療所における歯科衛生士が不足しています。

<R7年度に実施した主な事業>

(1) 歯科保健指導者研修会

市町村、保健所等の指導者を対象とする研修会を開催することで、歯科保健活動のより一層の向上を図りました。

開催日	協議内容	参加者数
令和7年 12月12日	講演 「乳幼児期のむし歯予防の重要性と市町村の取組に期待すること ～3歳児のむし歯全国ワースト1位からの脱却に向けて～」 講師 医療法人 育成会 矯正小児ひまわり歯科 理事長 柿崎 陽介先生 事例発表 「地域の実情に応じた乳幼児むし歯予防対策の取組について」 発表者1 宮崎市保健所 主任技師 井川 恵氏 発表者2 高鍋町健康保険課 主査 本部 比呂絵氏 質疑応答 グループワーク・情報交換会 テーマ：「市町村における子どものむし歯予防対策強化のための連携と具 体的な取組」	29名 (うちオン ライン参加 者7名)

(2) 歯科専門職種の資質向上事業

歯科保健医療サービスを円滑に提供するため歯科医師、歯科衛生士等の歯科専門職種を対象に研修会を開催し、資質向上を図りました。

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和7年 12月21日	講 演：「口腔への薬剤の影響について」 講 師： 国立病院機構熊本医療センター 診療部長 歯科口腔外科部長 九州歯科大学非常勤講師 中島 健先生	34名

（3）宮崎県医療福祉分野における物価高騰対策緊急支援事業（歯科技工所分）

光熱費やガソリン代等の高騰の影響を受ける県内の歯科技工所に対して、支援金を支給することで事業者の負担軽減を図り、歯科保健医療サービスの安定した提供を図ることを目的に実施しました。

■支援金支給：歯科技工所 127 件

（4）生産性向上・職場環境整備等支援事業（医療施設等）

人材確保が喫緊の課題となっている中で、限られた人員でより効率的に業務を行う環境の整備費用に相当する金額を、給付金として支給することにより、業務の生産性を向上させ、職員の処遇改善につなげることを目的に実施しました。

■支援金支給：169 件（交付確定額 29,784 千円）

6 総合的な歯科保健対策の推進

「宮崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」及び「第3期宮崎県歯科保健推進計画」に基づき、8020運動の積極的な普及啓発、および具体的な施策の普及を行った。また、歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進することにより、県民の皆様の保持増進に寄与することを目的とし、歯・口腔の健康づくりの推進強化を図りました。

<R7年度に実施した主な事業>

(1) 歯科口腔保健推進強化事業

① 8020運動推進強化事業

ライフステージごとの特性を踏まえた歯科保健対策の推進、定期歯科健診の普及を図りました。

- 妊産婦における歯科保健対策事業 補助金（再掲）
- 妊産婦における歯科保健対策事業 研修会（再掲）
- フッ化物洗口技術支援事業（再掲）
- 介護施設等における口腔ケア等指導研修事業（再掲）

② 歯科保健対策推進体制強化事業

■ 歯科保健推進協議会の開催

県民の生涯にわたる歯・口腔の健康づくりに関する施策を協議しました。

開催日	協議内容
令和7年 7月1日	1 報告 (1) 令和6年度宮崎県の歯科保健事業の実績及び令和7年度の取組 (2) 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の指標項目とデータの推移等について (3) 「宮崎県フッ化物洗口マニュアル（第2版）」への追加について 2 協議 (1) 第3期宮崎県歯科保健推進計画達成に向けた取組について ・乳幼児期の歯科保健対策について 他

- 歯科専門職種の資質向上事業（宮崎県歯科医師会委託）（再掲）
- 歯科保健指導者研修会（再掲）
- 地域歯科保健推進協議会の開催

県保健所において地域の歯科保健の実態把握と課題解決を図るため、協議会を開催しました。

保健所名	開催日	内容
中央	令和7年 6月26日	(1) 講話「国・県・管内の動向と対策について」 講師：宮崎県健康増進課 主幹 森木 大輔 (2) 各機関の取組状況について (3) 意見交換「乳幼児期から歯・口腔の健康を守るためにできること」
日南	令和7年 12月25日	(1) 報告 ①第3期歯科保健推進計画について ②日南保健所管内の歯科保健の状況 ③令和7年度地域歯科保健課題解決に向けた研修会 (2) 議事 ライフステージを通じた「切れ目のない」歯科保健の推進
都城	令和7年 12月3日	1. 報告 (1) 宮崎県の歯科保健の現状と取組について (2) 都城保健所管内の歯科保健の現状について 2. 議事 (1) 都城市・三股町におけるフッ化物先口の取組みについて (2) 成人期における歯科保健事業の取組みについて ・歯周疾患検診について ・妊婦歯科健康診査事業について ・都城地域歯科医療連携センターについて (3) 県・都城市・三股町の歯科保健に関する推進計画について 3. その他 令和7年度都城保健所歯科保健推進研修会の報告について
小林	令和7年 10月9日	1 報告： (1)宮崎県内の歯科保健の現状と取組について (2)小林保健所管内の歯科保健の現状について 2 協議： (1) 幼児期・学齢期の歯科保健事業の取組について (2) 成人期の歯科保健事業の取組について
高鍋	令和7年 12月15日	1 報告 (1) 宮崎県における歯科保健の現状と取組について (2) 高鍋保健所管内の歯科保健の状況について (3) 各所属における歯科保健活動の取組と課題について 2 議事 「乳幼児期・学齢期における歯科保健の取組について」 (1) フッ化物先口の取組について (2) 学校歯科検診後の要受診者における受診率の向上について
日向	令和8年 1月15日	1 報告 (1) 県内・管内の乳幼児期と学齢期の歯科保健の現状と課題について

		(2) 令和7年度歯科保健推進研修会について 2 議事 令和6年度歯科保健事業の取組と評価・重点課題、令和7年度歯科保健事業の取組と評価・重点課題について
延岡	令和7年 10月15日	(1) 令和6年度歯科保健に関する現状及び事業実績報告 (2) 令和7年度延岡市の歯科保健推進に向けた取り組み
高千穂	令和7年 8月21日	1 報告 (1) 宮崎県における歯科保健の現状及び取組について（説明：健康増進課） (2) 西臼杵郡における歯科保健の現状等について（説明：事務局） (3) 各団体・各町における令和7年度歯科保健活動の取組及びフッ化物洗口の取組（説明：各委員） 2 議事 (1) 国民皆歯科健診（検診）の推進・実現について ①説明・情報提供「成人歯科健診のこれから」（説明：健康増進課） ②管内の成人歯科健診の現状（説明：各委員） (2) 高千穂保健所地域歯科保健推進協議会設置要綱改正（案）について（説明：事務局）

■地域の課題解決に向けた研修会の開催

県保健所において地域の歯科保健の課題解決を図るため、研修会を開催しました。

保健所名	開催日	内容
中央	令和7年 7月23日	(1)・講演「幼児期からのむし歯予防はなぜ重要か」 講師 えぐち歯科医院 江口 英利氏
	令和7年 8月20日	(2)・北俣こども園のフッ化物洗口実施場面見学
日南	令和7年 11月19日	講演1「宮崎県地域歯科医療連携センターの役割について」 講師：日南地域歯科医療連携センター 歯科衛生士 中村 幸枝氏 講演2「オーラルフレイル予防と対策～訪問歯科診療の視点から～」 講師：医療法人清雅会 山口歯科医院 歯科医師 山口 皓平氏 講演3「高齢者の元気は食事から！食事を長く楽しむためにできること」 講師：日南市立中部病院 摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士 倉岡 李奈氏
都城	令和7年 10月7日	※フレイル予防研修会と合同開催 (1) 講演①「フレイル予防のための栄養と在宅栄養の実践」 講師 認定栄養ケア・ステーションニュートリションリンク 長友 孝平氏 (2) 講演②「『最近、食事でムセるんです・・・』～その声を見逃さない評価と支援～」 講師 藤元総合病院 言語聴覚士 岩村 秀世氏 (3) 説明「健康みやざき行動計画21（第3次）について」

小林	令和7年 8月28日	(1) 講話「オーラルフレイル予防と口腔ケアの実践について」 県歯科衛生士会 会長 下池 光氏 (2) 講話「フレイルと栄養」 シルバーランド望峰の里 施設長（管理栄養士）谷山 智恵子氏 (3) 説明「健康みやざき行動計画21（第3次について）」 小林保健所健康管理担当 管理栄養士
高鍋	令和7年 6月24日	講演「フッ化物洗口について」 講師 県健康増進課（県口腔保健支援センター） 主幹 森木 大輔
日向	令和7年 8月19日	講 演：フッ素のことをもっと知ろう 講 師：土田歯科医院 土田 雅人氏 説 明：県内・管内における小児の歯科保健の現状 説明者：宮崎県健康増進課 主査 松井 優華
延岡	令和8年 1月28日	説明 「健康みやざき行動計画21（第3次）について～高齢者のフレイル対策に向けて～」 延岡保健所 健康づくり課 管理栄養士 岸田真治 講話 「フレイル予防のための栄養管理・食事内容について」 講師 :延岡市役所健康長寿課 管理栄養士 安藤 香織氏 古川 未菜氏 講演 「高齢者のオーラルフレイルへの対策～摂食・嚥下等の口腔機能の維持・向上のための口腔ケア～」 演習 「現場で実践できる口腔ケア」 講師 みらいデンタルクリニック 歯科医師 高木 直美先生
高千穂	令和7年 11月6日	1 行政説明 「これからの成人期の歯科健診 宮崎県の取り組み」 説明者： 宮崎県健康増進課宮崎県口腔保健支援センター 佐竹あすか 2 講演「生活習慣病とお口の中の健康～歯科健診の意義と重要性～」 講師： 岩田歯科医院 岩田 充了氏 3 情報提供① 「協会けんぽ”健康宣言”事業、健康長寿推進企業等知事表彰の紹介」 説明者： 高千穂保健所 吉岡 泰代 4 情報提供② 「歯科疾患等簡易スクリーニングツールの活用」 アドテック株式会社

■ 歯科疾患等調査研究事業

- ・ 学校における歯科疾患等実態調査
- ・ 市町村歯科保健事業実施状況調査
- ・ フッ化物洗口実施状況調査
- ・ 歯科疾患実態調査
- ・ 抜歯の原因調査



■県民向け公開講座（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内 容	参加者
令和7年 11月30日	テーマ：「オーラルフレイルをご存じですか ～お口の健康 笑顔で100年～」 講 演：「元気で長生きするための養生訓「オーラルフレイル」をご存じですか？」 講 師：地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長 平野 浩彦先生	55名 （オンデマ ンド視聴回 数：22回）

■よい歯のコンクール（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内 容
令和7年 6月9日	・図画・ポスターコンクール 県教育長表彰各1名（ほか） ・標語コンクール 県教育長表彰1名（ほか） ・親と子のよい歯のコンクール 知事表彰1組（ほか） ・高齢者のよい歯のコンクール 知事表彰1名（ほか）

■いい歯の日キャンペーン事業

「いい歯の日（11月8日）」を含む期間に、県民に対して歯と口の健康づくりの積極的な普及啓発を図りました。

イベントの開催：イオンモール都城駅前店・イオンモール宮崎・イオン都城・イオン延岡

令和7年11月8日（土）



<内容>

- ・歯と口の健康グッズ（歯ブラシ、デンタルフロス、キシリトールガム等）2,000 個
- ・チラシの配布
- ・歯科健診体験クイズラリー、フォトブースの設置（イオンモール都城駅前店のみ）
- ・プレゼントキャンペーン

歯科医療機関を受診しキャンペーンに応募した方の中から抽選で20名に電動歯ブラシ、50名様にQUOカードPay1,000円分をプレゼントするもの。

■定期歯科健診等普及啓発：ポスター作成、配布：600枚

■定期歯科健診等普及啓発：チラシ作成。配布：50,000枚



■宮崎県庁ホームページ等による情報発信

県庁ホームページ、宮崎県口腔保健支援センターフェイスブック、みやざき健康ライフ等において、歯と口の健康づくりに関する情報を発信しました。



県口腔保健支援センターフェイスブック



公式インスタグラム（宮崎県健康 life）

（２）口腔保健支援センター運営事業

宮崎県口腔保健支援センターにおいて、歯科保健事業の総合窓口として関係機関と連携し、「宮崎県歯科保健推進計画」に基づく歯科保健事業の企画及実施、県民や関係者への情報提供、関係者の研修、調査・研究等を行いました。

- 歯・口腔の健康づくりに関する総合窓口
- 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発等の企画・立案及び実施
- 市町村、庁内関係各課・保健所に対する専門的支援
- 定期歯科健診の推奨
- 障がい者等歯科健診等の取組の推進
- 歯科疾患予防の推進
- 調査・研究の推進
- その他、歯・口腔の健康づくりの推進に関する業務

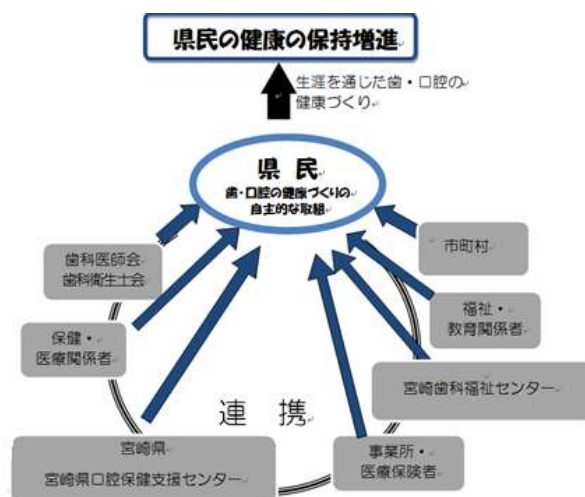


図 17 推進体制